

検索欄: タイトル&本文▼ 検索

テイステイ高橋の日記

テイステイ高橋の日記一覧へ 京日記 第523... >

日記を書く

友人の最新日記

- すの [アマチュア音楽会](#)
2021年10月18日02:14
- 聖也 [今日の猫\(1\)](#)
2021年10月17日22:32

自分の日記

- [京日記 第524段 辛丑9月24日](#)
2021年09月28日12:26
- [京日記 第523段 辛丑9月23日](#)
2021年09月27日11:08
- [京日記 第522段 辛丑9月21日\(二\)](#)
2021年09月26日11:53
- [京日記 第522段 辛丑9月21日\(一\)](#)
2021年09月25日19:34
- [辛丑 長月 二](#)
2021年09月21日21:30

≦	2021年09月							≧
日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

過去の日記

- [過去日記の閲覧設定](#)
- 2021年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) 11月 12月
- 2020年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)
- 2019年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)
- 2018年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)
- 2017年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)
- 2016年
[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)

京日記 第524段 辛丑9月24日 [編集する](#) 70 view

2021年09月28日12:26 (一部の友人まで公開)

現在、コロナ禍で多くの行事・祭が中止、良くて縮小となっているが、なぜか？美術館・博物館はフル稼働！ 多くが特別展(入場制限もある)さえ開催している。

屋内より屋外のほうが、感染拡大は少ないと思うのだが、屋内のほうが、イザとなったら「密」を制御し易いのだろうか？ 美術館や博物館ではシャベらないから？(感想を言い合っている人も多いが)

京都だけでも9月中に開催している特別展・企画展は、ザッと下記のように、たくさんある(今日現在、終了したものもある)。

- 福田美術館・嵯峨嵐山文華館の2館共同開催「京(みやこ)のファンタジスタ ～若冲と同時代の画家たち」
<https://fukuda-art-museum.jp/exhibition/202012271417>
- 京都国立近代美術館「日本の風景」
<https://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionArchive/2021/443.html>
- 細見美術館「細見古香庵生誕120年記念 美の境地」
<https://www.emuseum.or.jp/exhibition/ex073/index.html>
- 泉屋博古館「木島櫻谷 四季の金屏風 - 京都画壇とともに -」
https://sen-oku.or.jp/program/20210911_konoshimaoukoku/
- 相国寺承天閣美術館「若冲と近世絵画展」
<https://www.shokoku-ji.jp/museum/exhibition/jakuchu/>
- 府立堂本印象美術館「【特別企画展】生誕130年 堂本印象」
<https://insho-domoto.com/plan/new/current/index.html>
- 幕末維新ミュージアム霊山歴史館「渋沢栄一が生きた幕末 第2期 渋沢栄一と新選組」
<https://www.ryozen-museum.or.jp/>
- 龍谷ミュージアム「秋季特別展 アジアの女神たち」
<https://museum.ryukoku.ac.jp/>
- 清水三年坂美術館「絢爛たる刀装具 石黒派」
<https://sannenzaka-museum.co.jp/exhibition/>
- 野村美術館「深まりゆく秋 -初秋・晩秋の取り合せ-」
<http://nomura-museum.or.jp/>
- 京都文化博物館「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」
https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special_post/kobayakawashusei/
- 京セラ美術館「上村松園」展
<https://kyotocity-kyocera.museum/exhibition/20210717-0912>
- 京都国立博物館「京(みやこ)の国宝一守り伝える日本のたからー」
<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/miyako2021/highlight.html>

奈良
●奈良国立博物館「奈良博三昧」
https://www.narahaku.go.jp/exhibition/special/202107_zanmai/

前回は、このうち3か所を観覧したが、今日は、少々高いがホボ全展示品の撮影を許可している福田美術館・嵯峨嵐山文華館の2館共同開催「京(みやこ)のファンタジスタ ～若冲と同時代の画家たち」に行ってみる。

9時、我が庵を出る。ここ数日、好天が続いている。徒歩3分の「太秦映画村道(スーパー・マツモト前)」から93番の市バスに乗る。

太秦映画村道(スーパー・マツモト前) バス停。写真右端がスーパー・マツモト

mixiプレミアム

mixiがもっと便利に、もっと楽しくなる！

[詳しくはこちら](#)

話題の日記

- [蓮立さとこ さとこ、やさくれる](#)
135 view
- [王女のピピ様 2021.10.17](#)
121 view
- [YOSHII 香里 経口治療薬があれば、ワクチンは打たずにすむ??](#)
122 view
- [濱口猛志\(白夜\) お昼ご飯。](#)
36 view
- [濱口猛志\(白夜\) Holly Humberstone - Please Don't Leave Just...](#)
104 view
- [Terry D.D. Newfield 【運動】最後の一冠。](#)
41 view
- [間抜作 増えた減ったを、何で知るんですか？](#)
75 view
- [サンドオイル 波の盆](#)
59 view
- [マッシャー 雨のグラベルはキツかった\(T.T\)\(とっとりクリテリウ...](#)
20 view
- [KOHJI@翔水月在手 一票を入れたい候補者がいない...というときは白紙で。...](#)
31 view

[話題の日記一覧へ](#)

mixiプレミアム限定

マイミクに隠れて コミュニティに参加できる?!

◆ 忍者モード参上 [詳しく見る >](#)

困ったときには

- [日記のヘルプ](#)
- [利用上の注意](#)
- [規約違反の通報](#)
- [メンテ・障害のお知らせ](#)

[09月](#) [08月](#) [07月](#) [06月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)

2014年

[01月](#) [02月](#) [03月](#) [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)

2013年

01月 02月 03月 [04月](#)
[05月](#) [06月](#) [07月](#) [08月](#)
[09月](#) [10月](#) [11月](#) [12月](#)

日記の使用状況

4.3MB/2000.0MB



10分ほど乗ってJR「嵯峨嵐山駅前」で下車。嵯峨嵐山駅前を通ると、以前は観光客で溢れかえっていたのが、この状態



駅前の天麩羅屋「嵐山たなか」で、「嵯峨野コロッケ」を食べる。度々食べるが、これから揚げるのでしばらく待たされた





いつもココから渡月橋に向かう（自転車が通っている道）



嵐電の踏切を渡る



「三条通」に出るので、すぐ渡月橋が見える



渡月橋の向こう側に行く。道路の右側に福田美術館に入る道がある



前の写真奥の右側に入る



前の写真右端の福田美術館看板。紫式部の花がキレイに咲いていた



前の写真の曲がり角から30mほどで着く。10時開館だが思った以上に観覧者が開館を待っていた



10時開館。行列になった



受付風景



前の写真の左側、第一ギャラリーに向かう



福田美術館と嵯峨嵐山文華館の2館割引券で二千元



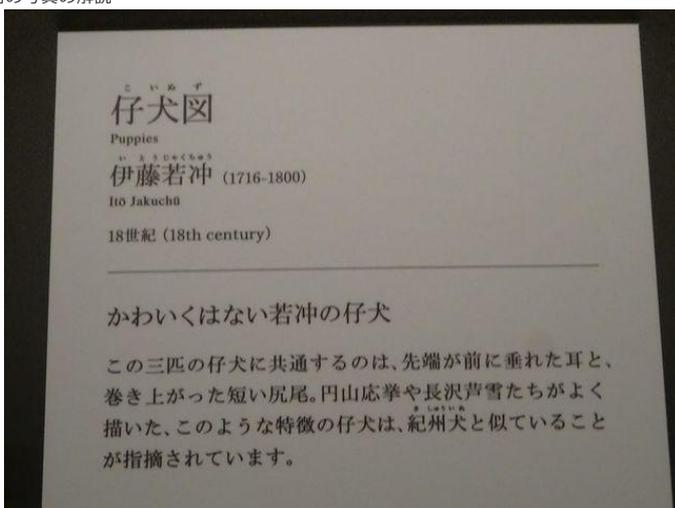
第一ギャラリーは、伊藤若冲と与謝蕪村の展示



若冲の子犬は、丸山応挙の子犬に比べて、どうもカワイくない



前の写真の解説



しかし、微笑ましい鶏は描ける



前の画の拡大



前の写真の解説

群鶏図
 Rooster, Hen, and Chicks
 伊藤若冲 (1716-1800)
 Itô Jakuchū
 寛政4年 (1792)

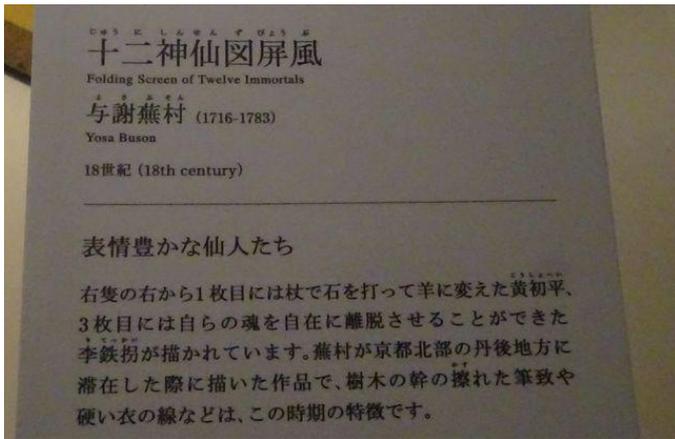
ほほえましいニワトリ家族

親子の鶏を描いた作品。雌鶏の後ろに1匹、前方にも2匹の雛がみえ、小さな鶏冠まで描かれています。雄鶏の胴体の羽の模様を黒や茶、白(胡粉)で描き分ける一方で、雌鶏は絹地本来の色を利用しながら、胡粉と墨で羽の模様を表現しています。喜寿を迎えた若冲の健筆ぶりがうかがえます。

蕪村の屏風絵



前の写真の解説



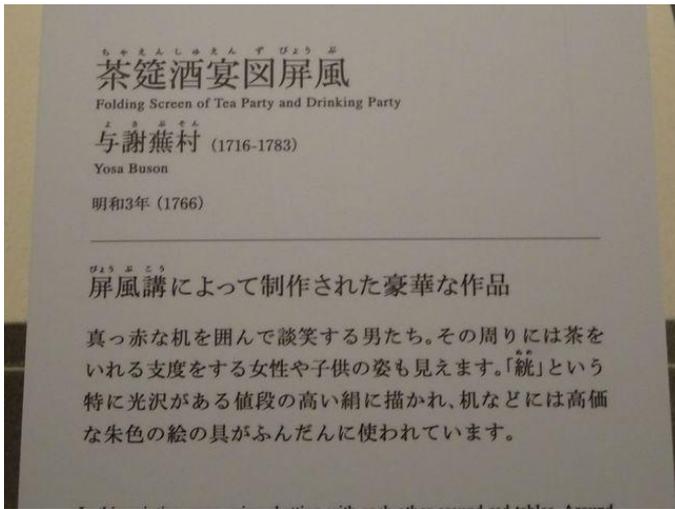
蕪村は、こんなに華やかな絵も描けることを知った。右隻



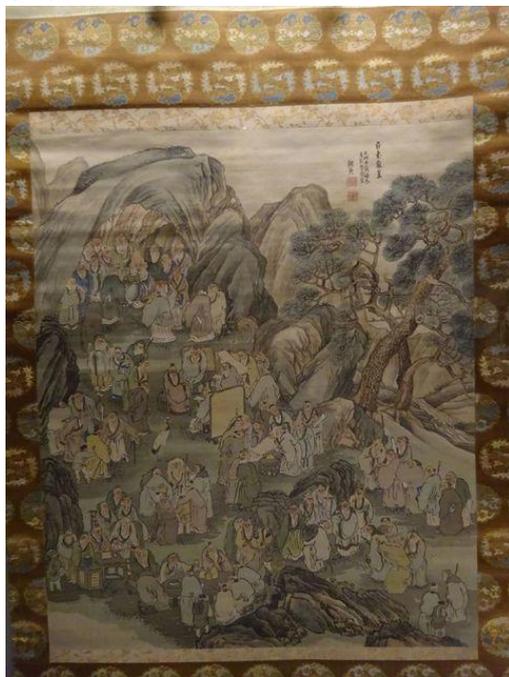
左隻



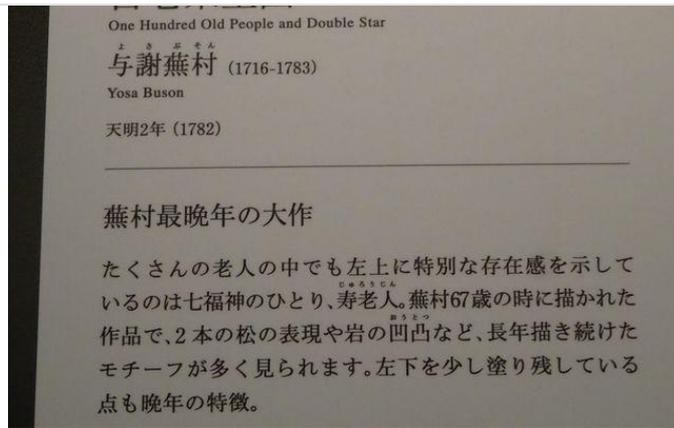
前の写真の解説



蕪村最晩年の絵。初めて見た



前の写真の解説



2階の第二ギャラリーへ向かう



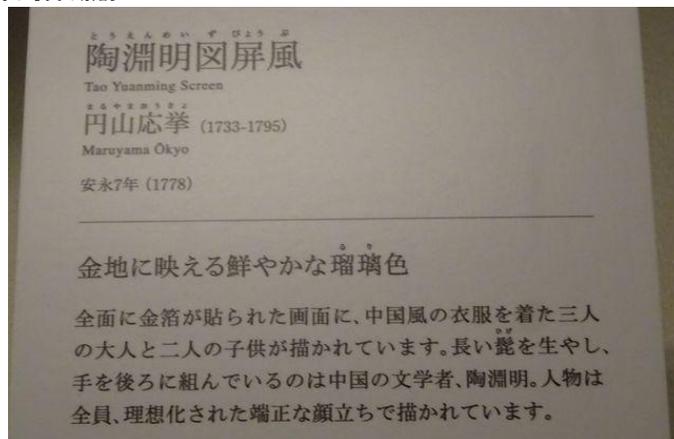
第二ギャラリーは、その他の画家



応挙の金屏風



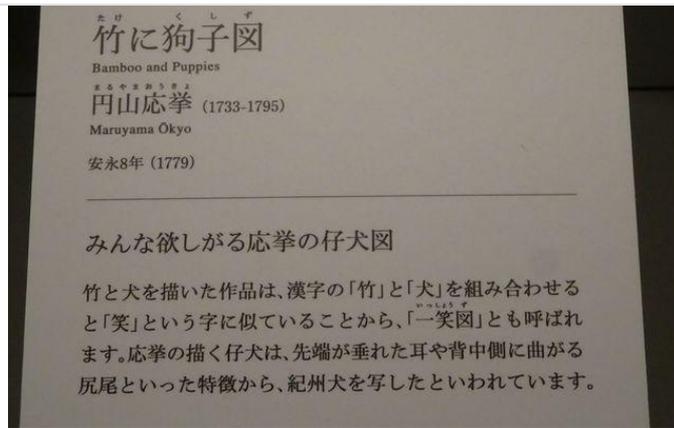
前の写真の解説



応挙の子犬はカワイイことで有名



前の写真の解説



前の画の拡大



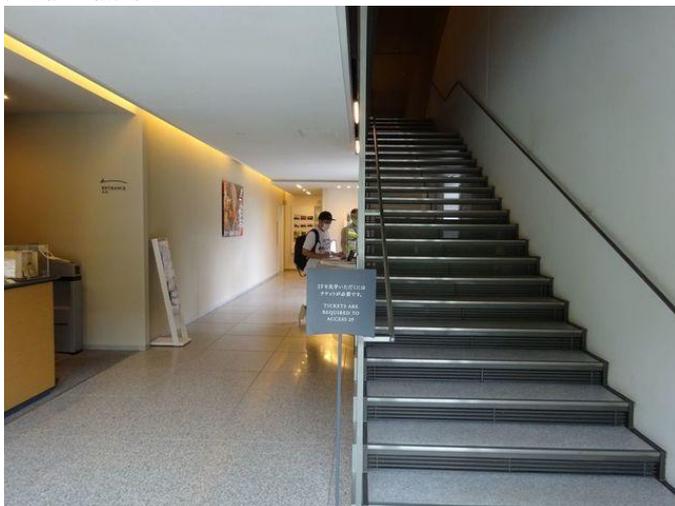
2階からの風景



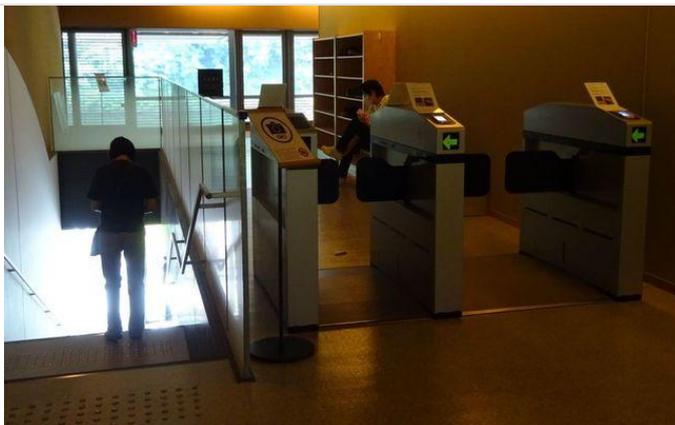
福田美術館を出て、嵯峨嵐山文華館に入る



ウツカリ先に2階展示室に行ってしまった。
写真左端が1階展示室入口



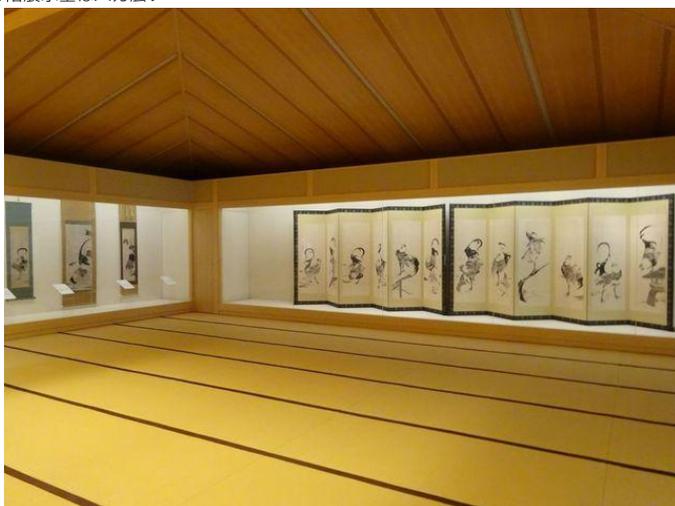
2階展示室の入口は駅の改札口のようにになっている。入場券のバーコードを当てるとゲートが開く



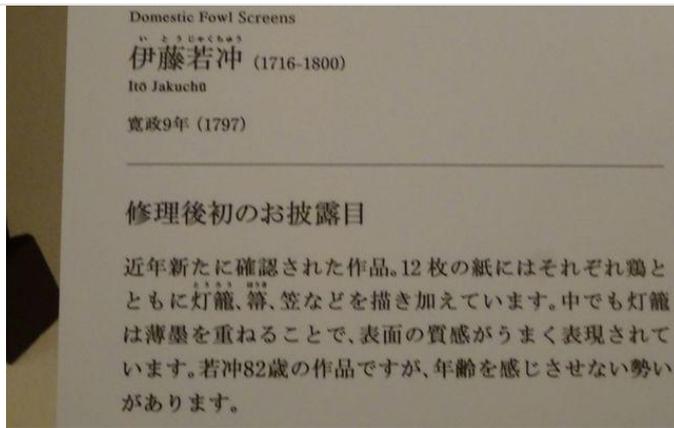
2階からの風景



2階展示室はバカ広い



前の写真の解説。前の写真の屏風は、最近、発見された若冲の群鷄図



群鶏図の拡大



これで何畳あるのかな？



展示室の外廊下。最奥左が改札口？



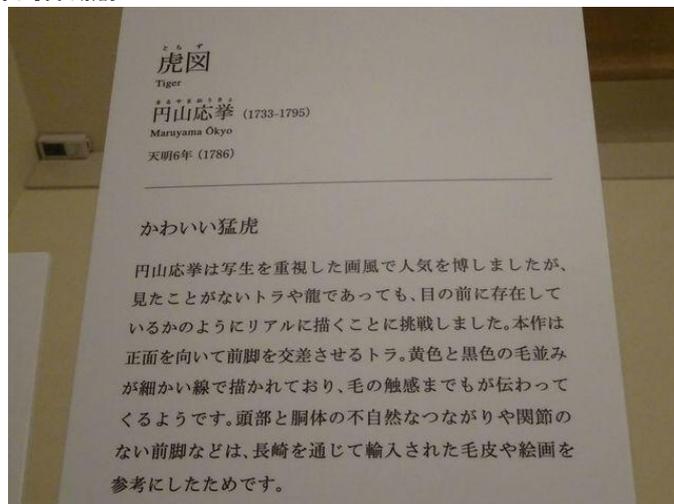
1階展示室を観る



応挙はトラを描いても、カワイくなってしまふ（笑）



前の写真の解説



嵯峨嵐山文華館のとなりは宝厳院。現在、閉苑中（職人さんが庭園のメンテをしていた）



前の写真を進むと天龍寺



すいてそうだったので入ってみる



曹源池庭園



ココは、いつも紅葉が早い🍁



天龍寺北門から出る



やはり、すいている。ココはいつも若い人達で溢れているのだが・・・



渡月橋を渡る



渡月橋を渡ると、すぐバス停がある。10分ほどで63番の京都バスがやって来た。



常盤中之町（スーパー・マツモト前）で下車。スーパー・マツモトに寄り帰った。

※なお、明日は京都国立近代美術館の「日本の風景」展を観て、となりの京都市立図書館に寄った後、出京しますので、今回の日記はこれで終わらせていただきます。閲覧及びコメントいただいた方々には、改めて御礼申し上げます。





ところで・・・

昨日、往還塾の五島先生を紹介して下さいました都草会員の岡田さんは、往還塾生でもあるのだが、京都でナカナカ顔も広い。

神沢杜口は、翁草の第二巻に「大丸屋彦右衛門の出世」というタイトルの話を書いています。やや長いですが、それは下記のような内容です。

大丸（現：大丸松坂屋百貨店）は、享保2年（1717年）、京都伏見京町四丁目到下村彦右衛門正啓が呉服店「大文字屋」を開業したことに始まります。2017年は、大丸創業300年記念ということで、大丸のネット・サイトに詳しい歴史がアップされましたが（現在は閲覧不可）、そこに記されていない珍しいエピソードが翁草に掲載されています。それは、今日誰でも知っている「大丸のロゴ・マークの起源について」です。

現在、一般的には「創業時の『大文字屋』の名は、京都五山の送り火の『大文字』にちなんで付けられた。名古屋進出にあたって、『丸』の中に『大』の字をあしらった商標を使い始め、広く一般に『大丸』と呼ばれるようになった」とされており、会社も概ねこれを公式見解としています。

しかし、翁草第二巻には下記のように書かれています。

その頃（享保年間）、尾張名古屋はたいへんに栄えていて「股賑（いんしん）の都」でした。彦右衛門も大阪出店の後、名古屋に出店を考え、まず名古屋に支店がある「京都二条通」の薬屋「井筒屋九兵衛」の運送用目印荷札「丸の中に大の文字」のロゴ・マークを貸してもらいました①。

井筒屋は、京都から名古屋へ荷物を頻りに運送しており、すべての荷物にこのマークを付けていたので、多くの人がこのマークを見知っていたのです。そして、彦右衛門は自分の荷物にもこのマークを付け、既存の老舗の知名度を巧みに利用したのでした。

① 私の調査では、当時、大文字屋（大丸）の店舗は現「ハートン・ホテル」付近にあり、井筒屋の店舗は、二条通「仁王門町」にありました。ちなみに、最近（昭和40年代中頃）までその流れを組む「井筒薬品株式会社」という医薬品問屋の店舗が、二条通に数軒ありました。両者は、かなり近距離（約120m）にあったことから、悪意にしていた可能性が考えられます（京都市町名変遷史4 御所周辺Ⅱ（中京区） P480 仁王門町～p483 p1041）。

つまり、誰でも知ってる有名な大丸のロゴ・マークは、元は他社（店）のものであった、というお話です。

この逸話は、現大丸は特に公表していませんが、一度、大丸（下村家）に真偽のほどを聞きたいと思っていましたが・・・

岡田さんにこの話をしましたら、大丸の歴史担当の元重役と親しいので、さっそく聞いてみる、とのことで回答がたのしみです(^.^)

[コメント](#)

イネ! (17) [あまね](#) [ヤナギ HB205](#) [命人@蘇民将来3号](#)
[ボンム・ド・テール](#) [紫雲英](#) [すの](#) [聖也](#) [おけつと](#) [はーちゃん](#) [☆マカロン☆](#)

コメント



[パーさん](#) 2021年09月28日 12:40



たまたま朝から三越と大丸の所を呼んでましたから偶然、嬉しく拝見致しました！

こんな日に京都に居たら寺社まわりし好きな甘味、スイーツ、ジェラートにパン屋巡りがガラ空きの最中出来るので妄想巡りで我慢して読書してます

出典提示出来なくてすみません、以前所有してた本に長谷寺のご本尊の由来が違う解釈で有りました

大和の国に昔、大変怪異な霊木が有りまわりに、祟りを成すから村人が切り倒したがまだ祟るから持て余し川に流したらたまたま引掛かって止まった場所とある僧の目に留まり
僧はこの大木から観音像を彫り出してそれを祀る為に長谷寺を建立した又は？長谷寺のご本尊になった？

[コメント](#)**テイスティ高橋** 2021年09月28日 19:17

> ぶーさんさん 大丸のマークなんて日本中の人知っているロゴですから、それが大丸発案でない他社のものだったとすると、けっこう衝撃ですよ🙄

もし大丸がカネを払ってマークを買い取ったなら、素晴らしいことで「知的財産権」を300年先取りした壮挙ですが、ヒョッとすると、今の中国的行為？も考えられなくもありません🙄

大丸の回答が、たいへん注目されるどころです👍

鎌倉長谷寺の寺伝は、たぶん？ という感じですね🙄👉 室町初期の創建くらいではないかと考えています・・・

**ぶーさん** 2021年09月28日 19:55

> ティスティ高橋さん 多分、当時は知財という思考が無いから軽い気持ちか？むしろ頼まれるぐらいに有名なんだから？って言う誇らしい気持ちで貸したのでは？

相手側がもう存在しないしないから大丸側も絶家か？廃業された時点で自分ちのものだと解釈？

今なら不可能ですがなんだかのんびりして話して面白く読みました！

[コメント](#)**テイスティ高橋** 2021年09月28日 20:09

> ぶーさんさん まあ、井筒屋さんにお礼くらいはしたんでしょうと思います👍

その後、大丸は江戸出店の際は、ロゴを染め抜いたフロシキを大量にブンばら蒔いたそうです🙄

**テイスティ高橋** 2021年09月29日 08:09

> ぶーさんさん しかし、どうもよく解らないのは、大文字屋（大丸）が「薬屋：井筒屋の子会社や傘下となる」というなら現代でも理解できますが、今日で言えば「クロネコヤマト」のネコのマークを自社商品に貼り付けて運搬するようなものであり、大文字屋にとってソコにどういうメリットがあるのか🙄？ ですね。杜口は武士だから、そのところをよく理解しないまま、記述したのでは？と思っています。

**ぶーさん** 2021年09月29日 11:59

> ティスティ高橋さん 多分、大文字側も井筒屋の知名度に乗っかりたい位にしか深く考えては無かったのでは？

或いはかなりな確信的に利用しようと言う思惑から？

当時の商い、商売人は職種に関わらずけっこう十羽ひとからげ的に世間から見られていたからか？積み荷の中身は分からないからごんにちの様にパッと見て薬種か呉服か馬の背に振り分けか荷駄だから？兎に角ひたすら ああ！

大文字屋さん

最近また一段と荷の動きが増えたな？！位の認識だったとしたら？貸した側にもまた名が売れたメリットが有って喜んだかも知れませんね？

こういう市井の何気ない記述、由来、来歴に後に皆がびっくりする記録を残してくれた事、素晴らしいかと思えます

私的には怪異、火の玉の記述に惹かれました！

[コメント](#)**テイスティ高橋** 2021年09月29日 13:06

> ぶーさんさん なるほどね👍
参考意見ありがとうございます🙄

火の玉記事は、我が国最古のUFO記事だそうです🙄

**ウオッカマティーニ** 2021年10月02日 12:35

福田美術館、嵯峨嵐山文華館とも以前から気になっています。
撮影可能というのがすごいですね。

蕪村、応挙、若冲・・・本物を目に焼き付けて、
「なんでも鑑定団」を見るとき真偽を見抜きたいです（笑）

[コメント](#)**テイスティ高橋** 2021年10月02日 17:36

> ウオッカマティーニさん 自由に撮影させてくれる美術館や博物館は、少ないですよ🙄

もっとたくさん撮影したのですが、全部掲載しても煩わしいので、特に興味がある



コメントする



コメントする

[利用規約](#)および[個人情報保護ページ](#)に同意のうえ投稿してください。

[日記を書く](#)

[テイスティ高橋の日記一覧へ](#)

[このページの上部へ](#)

[mixiについて](#) [運営者からのお知らせ](#) [mixiプレミアム](#) [サービス一覧](#) [機能要望](#) [スマホからの利用](#) [利用規約](#) [お問い合わせ](#)
[モンスター](#) [子供の写真・動画を共有](#) [美容室予約](#)
[運営会社](#) [プライバシーポリシー](#) [健全化の取り組み](#) [開発者向け情報](#) [人材募集](#) [転職サイト](#)

Copyright (C) 1999-2021 mixi, Inc. All rights reserved.